

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2021/4/22	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	岡田一幸
レジメン名	バイウィークリーアブラキサン+サイラムザ		
疾患名	胃がん	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	28	日間 総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 軽度
抗がん剤投与量・投与日 アブラキサン100mg/m <sup>2</sup> day1,15、サイラムザ8mg/Kg day1,15			

治療スケジュール・投与日程（投与日は●） (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート 点滴静注	アロキン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																											
		デキサト注射液6.6mg/2ml	1 本 / body			●																										
2	主ルート 点滴静注	生食250mL	1 本 / body		●																											
		サイラムザ	8 mg / Kg	60 分	●																											
5	主ルート 点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
4	側管 点滴静注	生食100mL	1 本 / body		●																											
		アブラキサン	100 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●																											
インラインフィルター無しのルートに交換する																																
5	側管 点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

サイラムザ: 前投薬として投与の30分前に、レスタミン5錠の内服が必要。

サイラムザ: 0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。投与後は生食50mLでフラッシュする。

アブラキサン: インラインフィルターは使用しないこと。血液製剤の同意書と伝票が必要。

アブラキサン: アブラキサンの後は生食50mLでフラッシュする。

アブラキサン: 他剤との配合、または同じ静注ラインで同時注入しない。

アブラキサン: 生食で溶解する。調製した懸濁液は必要量をバイアルから抜き取り、事前に用意した空の点滴バッグに入れる。(懸濁液を生食で希釈しない)